



イベントの開催時には、町の広報紙やホームページ、公式SNSなどへの掲載のため、撮影や取材を行うことがあります。

くまもとふるさと食の名人 竹隈京子さんに感謝状 贈呈

本町で長年にわたり、地域の貴重な食文化の継承や地産地消の推進にご尽力いただいている「くまもとふるさと食の名人」の竹隈京子さんが、このたび活動15年目を迎え、熊本県から感謝状を受領されました。

「くまもとふるさと食の名人」は、県独自の基準に基づき、優れた調理技術や郷土料理に関する豊富な知識を持ち、その普及活動を行う方が認定される制度です。

竹隈さんは平成24年度の認定以来、地元の食材を使った料理教室の開催や子どもたちへの食育活動など、幅広い分野でご活躍されています。

今回の受賞について竹隈さんは、「長年続けてこられたのは、地域の皆さんの温かい応援と、一緒に活動してくれた仲間のおかげです。これからも、和 zwar 町の美味しい食の魅力を次の世代に伝えていきたいです」と喜びと今後の抱負を語ってくださいました。

竹隈さんの長年のご功績に深く敬意を表するとともに、今後のますますのご活躍をお祈り申し上げます。



地域の魅力向上 地域活性化起業人 着任

地域活性化起業人とは？

三大都市圏に所在する企業などの社員が、そのノウハウや知見を活かし、一定期間地方自治体で、地域独自の魅力や価値の向上、地域経済の活性化などの業務に従事し、地方などの人の流れを創出するものです。

取組内容

令和8年9月1日から3年間、次の業務に従事していただきます。

弘中雪絵さん（写真左） 合同会社Heute（ホイテ） 1. 町への集客戦略に関する こと 2. 町の観光資源を活かした イベントに関する こと 3. その他観光振興に関する こと	小原尚敏さん（写真右） 石井食品株式会社 1. 地域産品の販路拡大に 関すること 2. 子ども達に向けた食育に 関すること 3. その他産業振興に 関すること
---	--



▲写真左から弘中さん、町長、小原さん

職員の人事異動がありました

令和8年9月1日付		
氏名	配属先	職名
上原 克彦	議会事務局	事務局長
深草 健夫	住民環境課	課長
前淵 美由紀	保健子ども課	課長補佐兼神尾保育園所長

令和8年10月1日付		
氏名	配属先	職名
池上 恵末子	住民環境課	主事

新規採用職員（民間・公務員経験者）

氏名	配属先	職名
中山 麻希	総務課	主事
前田 恭孝	学校教育課	主事



▲新規採用職員

男女参画の視点で外国人との 共生社会を考える意見交換会

9月14日回男女共同参画の推進及び連携を図るため、玉名人権擁護委員協議会男女共同参画委員会との意見交換会が開催されました。

町男女共同参画懇話会委員をはじめ、町国際交流協会、町関係職員が参加し、協議会の陶山えつ子委員長から、「男女参画の視点で外国人との共生社会を考える」をテーマに地域と外国人を取り巻く現状をご説明いただき、活発な意見交換がなされました。

参加者からは、同僚の外国人と接した実体験や「先入観にとらわれず、実際に交流することが大切」などの意見が出され、有意義な時間となりました。

和 zwar 町では引き続き、男女が互いを人権として尊重し合い、性別や出身に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる社会になるよう活動をしていきます。



▲交換会の様子

「見えにくさ」を知り、思いやりの 心を育む体験型人権教室

玉名人権擁護委員協議会は、9月29日回菊水小学校でロービジョンフットサル体験人権教室を開催しました。子どもたちに「見えにくさ」を体感してもらい、障がいの有無に関わらず互いに認め合い支え合う共生社会への理解と、相手の立場に立った思いやりの心を育むことを目的に企画されたものです。

NPO法人LVFサポートクラブ（熊本市）の協力のもと、視野が限定されたりぼやけたりするゴーグルを着用し、ロービジョンフットサルに挑戦。ロービジョン（弱視）でのボールの扱いを通じ、日常生活における「見えにくさ」や、周囲のサポート（声掛け）の大切さを身をもって体感しました。

児童からは、「見えにくくてもプレーできてうれしかった。」などの声が聞かれ、障がいがあっても一緒に楽しめることへの理解を深めることができました。人権が尊重され安心して生きることのできる社会をつくるため、啓発活動を続けていきます。



金栗四三生誕の地で駆け抜けた、白熱のたすき 第12回中学駅伝金栗四三生誕の地なごみ大会

9月20日回和 zwar 町陸上競技協会主催「第12回中学駅伝金栗四三生誕の地なごみ大会」が、三加和公民館前発着周回コースで開催されました。

本大会は、県内の中学校およびクラブチームを対象に、平成25年度から開催している大会です。

今年は、過去最多となる64チーム（男子39チーム・女子25チーム）数延べ256人（男子156人・女子100人）のランナーがエントリー。金栗四三の生誕の地ならではの誇りと歴史を胸に、一秒を削る熱い戦いが繰り広げられました。

男子の部は「NJAC」（熊本市）が栄冠に輝き、町内のクラブチーム「金栗PROJECT」が準優勝と健闘しました。また、女子の部は「金栗PROJECT」が見事優勝を果たし、町内チームの素晴らしい活躍が光る大会となりました。

選手たちは沿道の熱い声援を力に変え、最後まで力強い走りを見せてくれました。



▲大会の様子



日本や地域の文化を学ぶ にほんご教室

日本語を学び、地域の皆さんと交流する機会として、にほんご教室を開催しています。

教室では、日常生活や仕事など、さまざまな場面で必要となる日本語を学ぶほか、参加者同士で会話を楽しみながら、日本や地域の文化について勉強しています。

これまでの教室では、あいさつや日常会話、熊本弁などをテーマに楽しく日本語を学びました。毎回、20名ほどの参加があり、和やかな雰囲気の中勉強しています。

外国人の皆さんにとっては日本語を学ぶ場として、日本人の皆さんにとっては外国の人と交流し、異なる文化などに触れる場として、互いに学び合いのできる教室です。お気軽にご参加ください。

今後の開催予定

▶日にち：11月9日回・11月30日回・12月7日回・12月21日回

▶時間：午後6時30分～8時

▶ところ：和 zwar 町中央公民館



▲第1回目のにほんご教室 集合写真

秋の全国交通安全出発式 交通安全キャンペーン

9月18日回交通安全意識の向上を目的に、秋の全国交通安全出発式を行いました。式では、交通事故のない安全・安心な地域づくりに向け、交通ルールの遵守と安全運転を呼びかけたほか、菊水ひまわり園の園児による鼓笛が披露されました。

また、9月28日回役場本庁にて、交通安全キャンペーンを行いました。ひまわり園の園児が、星の子会が交通安全の願いを込めて作成した草履のお守りを来庁者に手渡しし、交通安全を呼びかけました。

これからの時期は、日没が早くなりますので、早めのライト点灯や反射板の活用をお願いします。



▲出発式の様子

交通安全キャンペーンの様子

